

本カタログに掲載している製品内容は、部品としての品質範囲です。この部品を使用した最終製品の機能・性能・安全を保証するものではありません。



連続間仕切り折戸 100RD



扉幅	600mm以下
扉高さ	2740mm以下
扉厚	28～44mm
扉質量	27kg以下（扉1枚当たり）※ ¹
製品仕様	2～6枚折戸扉仕様（天井付け）

※¹ 扉サイズは扉質量を優先して決めてください。

部屋の間仕切りやウォークインクローゼットに最適な折戸金物。

■特長

- 上ローラーはダブルローラー仕様のため、滑らかに動きます。
- 上ローラー、上下ピボット、ヒンジとも脱着が容易です。
- オプションを使用すると、下レール、下ガイド仕様になります。

■注意

- 扉開閉時の衝撃に耐えられ、扉質量に対応できる強度を持った枠に取り付けてください。強度のない枠は扉の動きを著しく低下させるばかりでなく、上レール⑪⑫の脱落などを引き起こすことも考えられ、大変危険です。
- 間口の大きさが2400mmを超える場合は、1枚の扉幅は450mm以下にしてください。これ以上の場合は荷重的に保証できません。
- 本製品はアコーディオンドアではありません。丁寧に開閉を行わないと故障の原因となります。
- 開口寸法に合わせて上レールを必要な長さに切断します。切粉等が上レール内に残らないように除去してください。

■上ピボット②、上ローラー①⑧、上ストッパー④の組み込み

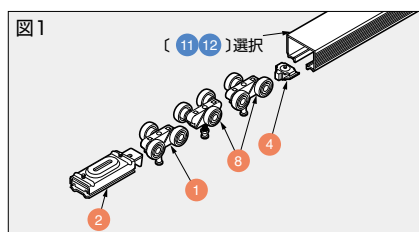


図1のように上レール⑪⑫へ上ピボット、上ローラー、上ストッパーを向きや順番に注意して組み込みます。

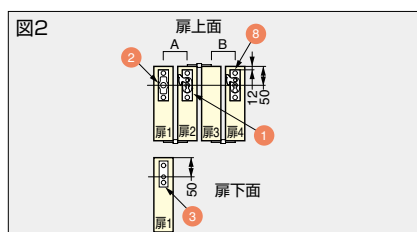


図2のように扉1上面へ上ピボット、下面に下ピボット、扉2、4上面に上ローラーのベースプレートを取り付けます。扉厚に対し中心に取り付けます。

■ヒンジ⑥（抜き差し式）の取り付け

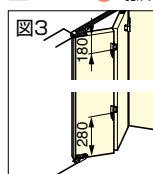


図3の寸法位置に取り付けます。ヒンジは上下に分かれるため、軸のある方を吊り元に近い側に軸を上向きにして取り付けてください。

他の扉も同様に取り付けます。

注）図3は左吊元の場合です。右吊元の場合は勝手違いとなります。

■扉の吊り込み1

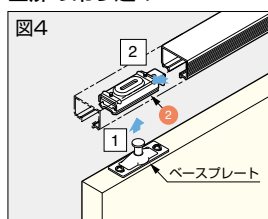


図4のように上ピボット②の軸をベースプレートに差し込み固定します。

■扉の吊り込み2

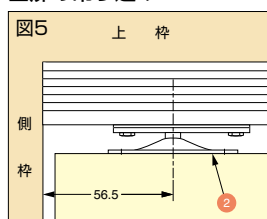


図5のように上ピボット②の軸を側枠から56.5mmに調整します。

■ブラケット⑤の取り付け

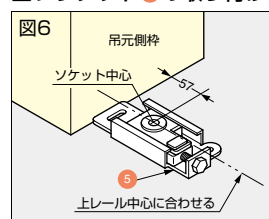
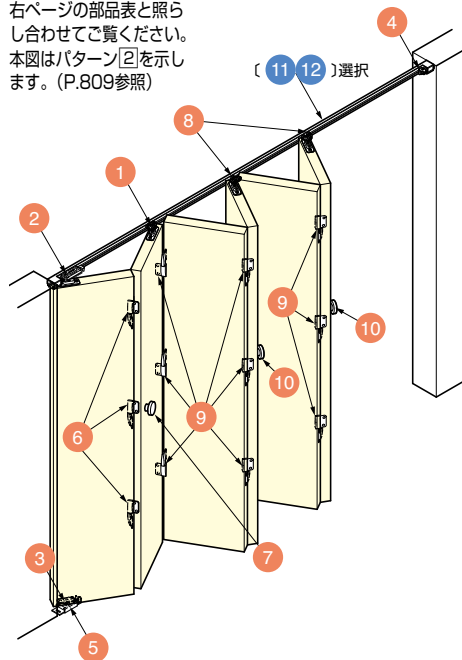


図6のようにブラケット⑤を上レール⑪⑫の中心と合わせた後、ソケットの中心を側枠から57mmに調整します。

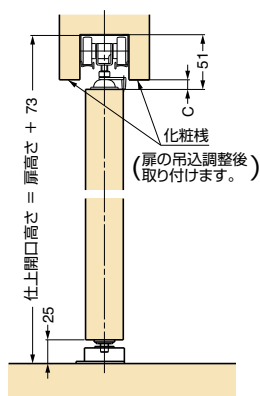
■納まり寸法例

丸番号は部品番号です。右ページの部品表と照らし合わせてご覧ください。本図はパターン②を示します。（P.809参照）

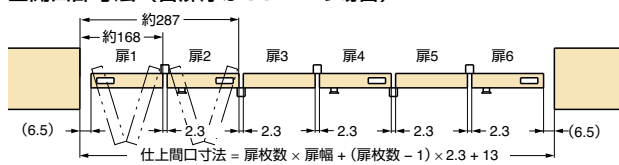


■扉の納まり寸法

- 右図の化粧棧を取り付けると、扉の吊り込みはできなくなります。化粧棧は、必ず扉の吊り込み調整完了後に、木ねじで取り付けてください。
- 扉とのアキ寸法Cは、現物合わせで適宜とってください。



■開口部寸法（各扉厚が35mmの場合）



輸入品のため、製品改良などにより予告なく寸法や材料の仕様変更を行う場合があります。念のため、現品にてご確認ください。